

書面協議による審議会等の開催結果

1 審議会等名

令和3年度第1回石狩市地域公共交通活性化協議会

2 書面協議とする理由

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため

3 協議期間

令和4年1月31日から令和4年2月10日まで

4 会議参加者（50音順、敬称略）

- (1) 池田 篤司 石狩商工会議所政策検討委員会 委員長
- (2) 岸 邦宏 北海道大学 公共政策大学院 教授
- (3) 木村 直樹 北海道中央バス株式会社 石狩営業所長
- (4) 久保田 一好 北海道運輸局 札幌運輸支局 首席運輸企画専門官
- (5) 久保田 貴浩 石狩市社会福祉協議会 地域福祉課長
- (6) 桑山 渉 石狩湾新港企業団地連絡協議会 事務局長
- (7) 小島 義広 石狩市連合町内会連絡協議会 理事
- (8) 小鷹 雅晴 石狩市 企画経済部長
- (9) 小山 玲子 一般公募
- (10) 高 眞一 浜益区自治会連合会 副会長
- (11) 竹内 努 ダイコク交通株式会社 総務課長
- (12) 渡邊 恭子 一般公募

5 報告事項

- (1) 石狩市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進行管理

出された意見等

- ・コロナ禍での実験等が順調に行われることを期待します。
- ・計画の進行管理を適宜見直していく事が必要。
- ・乗合タクシーなどの構築については協力できるところは協力します。
- ・時世の影響なので実証実験の延期は仕方がないと思います。
- ・特に意見はありませんが、新型コロナウイルス感染拡大において延期が施策3のみと言うのは素晴らしいと思います。
- ・新港地域は自社バスまで含めて選択肢は多い。交通空白地住民（高齢

者)の交通の検討を進める。

(2) 石狩市公共交通支援事業補助金について

出された意見等

- ・交通事業者への支援事業補助金制度、賛成です。バス営業所は花川北地区に在りますが、トーメン団地地区に在ると、中継場所に適地と思う。
- ・交通事業者に補助金支援は必要と思われる。
- ・迅速な対応、申請方法など非常にありがたい。
- ・同意します。
- ・賛成です。
- ・大変厳しい状況が続いていますので、市民の足の確保のため、是非宜しく願いいたします。
- ・交通事業者への支援をご検討くださり感謝いたします。公共交通事業者はエッセンシャルワーカーという認識のもと、コロナ禍においても事業を継続しているところ、このような支援は有効なものと考えます。
- ・公共交通機関の事業継続のため支援を行うことは、市民の移動する権利を守ることであり必要と思われます。

(3) 「公共交通空白地」における地域住民との意見交換会について

出された意見等

- ・以前、厚田地区アンケートの移動方法等の意見と生振地区の意見を比べてみると、ほぼ同じ現状、対策案、要望と思う。やはり高齢者対象公共交通になるのは仕方無いかと思う。各地区から週1回市役所までの公共交通があれば、その先は個人で移動できるのではないかと思う。
- ・利用者の減少による路線バスの定期運行が出来なくなったので、予約を取りまとめて送迎する方式はどうか？
- ・地元要望が強い地域ということなので、様々な人の意見を聞く機会を設けることに同意します。意見交換会の時期は考慮が必要かと思えます。

- ・難しい問題だと思いますが、ニーズを吸い上げ、公共的な「足」の在り方を検討すべきかと思います。
- ・意見交換会への意見ではありませんが、本会でも意見交換会が行われた生振地区を対象とした、りんくるへの送迎事業を行いました。その際にニーズを聞き取りましたが、個々の声はあっても地域全体の意向を汲み取る困難さを実感しました。
- ・公共交通を維持するための負担を含めて検討する。

(4) 石狩湾新港地域における新たな交通システム実証実験について

出された意見等

- ・「(5) 石狩湾新港地域におけるオンデマンド交通の実証実験案」を含めて実験を行い、実施可能なデータを数値化する。
- ・新型コロナウイルス感染症のオミクロン株も落ち着き、実りある実証実験になることを期待しております。
- ・利用者の多いところは良いと思う。
- ・現時点の感染状況から先行きが見通せないと思います。
- ・当社としても、興味のある実証実験で、将来の交通の在り方のヒントになると思います。
- ・公共交通の希薄な新港地域の海側に立地する企業にとっては人手の確保に向けて、また、企業誘致についても良い材料になるのではないかと。冬期の渋滞対策等を講ずる必要があるのではないかと。
- ・事前予約も不要のため利用しやすいので、新たな交通システムを考察する上でも、積極的な利用がなされればと思っています。

(5) 石狩湾新港地域におけるオンデマンド交通の実証実験案

出された意見等

- ・自社バスの無い企業に通勤している従業員にとっては、この実証実験は良い。ただし新港地区は広く、細かいルート運行は無理と思うので、検証を重ねながらルート決定したら良いと思います。(雪の多い冬期こそ必要)
- ・現時点の感染状況から先行きが見通せないと思います。
- ・当社としても興味のある実証実験で、将来の交通の在り方のヒントに

なると思います。

- ・公共交通の希薄な新港地域の海側に立地する企業にとっては人手の確保に向けて、また、企業誘致についても良い材料になるのではないかと。冬期の渋滞対策等を講ずる必要があるのではないかと。
- ・この地域の運行に必要なシステムはどのレベルのものなのかを見極めることが重要だと思います。システム費用が地域の重荷にならないよう注意していただきたい。
- ・実験運行に際しては、道路運送法上様々な運行形態が考えられ、それぞれ標準処理期間等も異なりますので、随時、情報共有をさせていただきながら、連携して取り組みを進めさせていただきたく、宜しく願いいたします。
- ・欧州等で実績があるシステムに興味があります。この実証実験における石狩市内向けオンデマンド交通が、将来的には公共交通空白地における住民の移動手段へ発展出来ればと願っております。
- ・全国各地で導入事例が増えており、定時定路線で運行する現行の公共交通では対応できないニーズを取り込み、活用を工夫すれば地域課題への一助にもなりうると思われる。

(6) 公共交通系協議会の統合及び任期について

出された意見等

- ・協議会の統合は公共交通に係ることなので、一本化は良いことかと思えます。委員の方々は地域の現状を知っている方、例えば自治会の会長等も一員になってもらう（地域の声を届けてもらう）。
- ・実質、書面協議での開催だったので、負担は感じませんでした。今後は重複メンバーもあるとのこと、統合することに賛成します。任期についても同意します。
- ・より深い議論、検討をする上でも統合には賛成です。
- ・1つの自治体で3つも公共交通に関する会議体があったことに改めて驚きました。縦割りの運営の解消、意思決定が早くスムーズになることを期待しています。
- ・同意します。
- ・おおむね妥当。

- ・賛成いたします。公共交通に限らず目的が近い組織は統合すべきと考えています。